

学長選考会議による学長の業務執行状況の検証結果について

学長の業務執行状況の検証の観点及び資料は、以下のとおりである。

○検証の観点

1. 山梨大学の教育研究・経営の最高責任者として優れたリーダーシップを発揮しているか
2. 本学の個性と特色を発揮するための明確なビジョンを示し、それを実現しているか
3. グローバル化社会で活躍できる有為な人材を育成し、世界に発信できる高度な研究を推進しているか
4. 教育研究を通じて、さまざまなニーズに応えつつ社会貢献を推進しているか
5. 構成員の意欲と創意を引き出し、本学の人的資源を最大限に生かしているか

○検証資料

- ・ 所信表明書
- ・ 平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書（学外公表）
- ・ 平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果（国立大学法人評価委員会）
- ・ 平成30年度監査結果報告書（山梨大学監事報告）

上記、検証の観点に基づき、検証資料により学長選考会議で検証した結果、国立大学法人評価委員会の評価において、すべての項目が順調との評価を得ていること、また、大村智博士のノーベル医学・生理学賞の受賞を機に設立した大村智基金の事業の一環として「大村智記念学術館」を創設するなどの成果を上げており、総合的見地から平成30年度の学長の業務執行状況は、良好と判断する。

令和2年1月24日

山梨大学学長選考会議